



石垣市
Ishigaki City

沖縄
元マイナス
プロジェクト

日本初のカーボンマイナスツアーで取り戻す 「石垣島の原風景」

観光で自然を守る?!
「石垣島カーボンマイナスツアー」

日本列島の最西南端に位置し、県内最高峰の於茂登岳(五二六m)、川平湾、白保のサンゴ礁、名蔵アンパル、マングローブ干潟などの豊かな自然を有し、赤瓦の民家や伝統芸能など昔ながらの風景を残す石垣島。県内外から多くの観光客が訪れる地域です。この豊かな自然環境を守るため、今、石垣島からエコプロジェクトが発信されています。



異業種間で活発にアイデアを出し合うプロジェクトメンバー

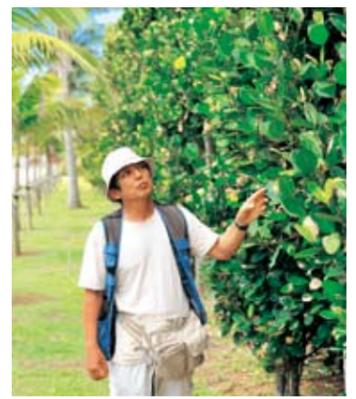
今年七月、石垣市商工会は、日本初の森林吸収源による排出権取引を組み込んだ「石垣島カーボンマイナスツアー」を発表しました。このツアーの特徴は、通常のカーボンオフセットに、さらにフクギの植樹をツアーメニューに加えることでより多くのCO2削減(カーボンマイナス)に貢献できることです。

また、このツアー参加者には島内の加盟店で使えるエコポイントを進呈し、地元経済の活性化も狙います。地元の人だけで行うこれまでの地域づくりと異なり、観光客が石垣島の自然保護に貢献できる点に県外から注目が寄せられています。

*ツアーの移動で生じるCO2(二酸化炭素排出量に見合った温室効果ガスの削減活動費を旅行代金として購入)

島が豊かになれる
持続可能な観光モデルへの挑戦

企画のきっかけは、石垣市商工会の経営指導員平田睦(まこと)さんの「島のみなが豊かになれるよう、自然環境を守りながら地元経済を発展・循環したい」という故郷への思い。島おこしの専門家であるNPO法人沖縄人



理想的なフクギ並木を案内する谷崎さん

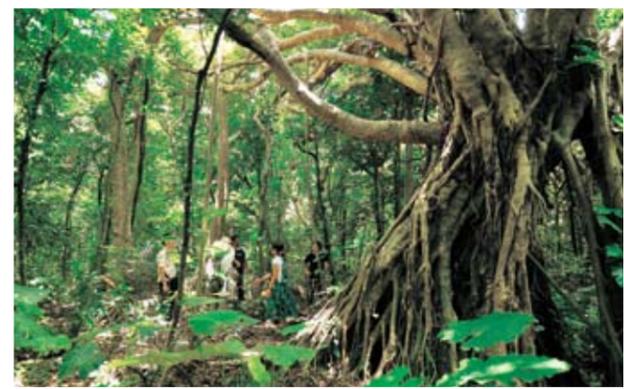
れていたフクギは農作物を風害や塩害から守り、地温の上昇や土壌の乾燥も防ぎます。さらに成長過程でもCO2を削減できる」とフクギの植樹に大きな期待を寄せています。

モニターツアーの参加者からは、「十年後の成長を見るため、もう一度島を訪れたい」「フクギがCO2削減にどれだけ貢献できるのか、いろいろ考えさせられた」「簡単な作業だと思っていたら意外と大変だった。でもその分、自分でやったという達成感がある」などの声があり、ツアー商品化に確かな手ごたえを感じています。

ツアー成功に向けて
「石垣島への愛」で心をひとつに

ツアー実施の十月に向け、プロジェクトメンバーの想いも結束して

石垣島オリジナルのアクセサリを手がける平良静男さんは、美崎大通り会の清掃で街の環境悪化を



ツアー見学地のネバル御嶽には、樹齢200年以上のガジュマルやアコウなど八重山在来種の大木が茂る

感。「小さな島はゴミが海の汚染に直結する。ツアーは環境を考えるいいきっかけで、地元小中学生にも体験させたい」と語ります。牧場を経営し、フクギの植樹場所提供・管理を行う石垣憲良さんは「石垣島は環境に恵まれすぎて、守る意識が低い。島の人間が環境保全の意識を高めなければ」と呼びかけます。「みんながひとつになれば結果は必ず動く」と力強く語るのは、島の素材を生かした食品販売を行う伊良皆誠さん。ツアーのCO2排出量を測定した中西武志さんは、毎年、石垣島ドライブアスロンに参加する大の石垣島ファン。「こんな形で島の自然を守るお手伝いができて幸せ」と顔をほころ

「石垣市に学ぶ」
元気プロジェクトの開発ヒント
専門分野、得意分野をそれぞれが持ち寄り、総合力で石垣島の付加価値をUP
モニターツアーを事前に実施し、課題や反省点を商品づくりに有効に生かす
ツアー参加により、島民だけでなく観光客や島外の石垣島ファンも島の自然保護に貢献できる



石垣市商工会
☎0980-82-2672
URL <http://www.i-syokokai.or.jp>

ばせませす。
このプロジェクトは島の「地域ブランド構築推進事業」に採択され、ツアーの昼食となる特産品メニューの開発や、美しいサンゴをイメージしたアクセサリの土産品など、新たな魅力づくりを計画中です。「素晴らしい自然を子や孫、全国の石垣島ファンに残したい」。熱い想いが原動力となっていました。

編集後記

夏休みの間、近くの公園などで行なわれていた朝のラジオ体操。中学校以来、17年ぶりの参加でしたが、「順序は身体が覚えているから楽勝!」と自信満々に子ども達の見本になるのを引き受けたところ、逆に子ども達に間違いを指摘されてばかりで涙目に・・・(汗) (tako)

日本三大花火大会の一つ「長岡まつり大花火大会」に行ってきました。「どどーん」という大きな音を響かせ、色鮮やかな花火が信濃川の上空約3kmにわたって開花し、観客席からは「中村屋」とかけ声が飛び交います。終盤は、空に稲妻が走り、今にも雷雨の空模様。雷と花火の音が交錯するエキサイティングな花火大会でした。(momo)



直根型のフクギは地面に細長い穴をあけて植樹する



アンケート
「美ら島沖縄」のご感想をお聞かせください。
パソコンはこちら
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県広報誌
平成21年9月1日発行第33巻9号通巻408号
美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL:098-866-2020
●表紙 写真・新井優 /
フクギの植樹で「カーボンマイナス」
石垣島の原風景を復活へ(石垣市)